

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 暖母 多の津Ⅲ		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 10日		2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの活動スペースの確保、又は好きな空間・興味のある遊びへの選択が自由にできる環境	子どもたちが自由に選択できる遊具や玩具をコーナー展開しており、遊びを通して関わりや社会性・自発性が育つように取り組んでいます。その他には休憩できるスペース、体を動かせるようトランポリンやバランスボール等の遊びを通して身体の使い方を学べる機会を作っています。	遊んでいる空間にもスタッフがその場にて他者との関わりを持つ手助けや苦手な取り組みにもチャレンジしたくなるような手助けを行いながら、遊びの中で学べるように沢山の経験へと繋げていける支援を心掛けています。
2	季節に応じたイベントや沢山の経験を目標とした活動や外出	行事や季節を感じてもらいイベントに参加したり、買い物や外食等の日常に必要な事を体験する機会を設けています。また、クッキングを毎月取り入れて食への意識向上を図っています。外出や活動を通して、沢山の体験と経験を大事にして取り組んでいます。	利用者の成長に合わせた体験できる幅を1人ひとりに設定しながら、たくさんの体験・経験が出来るように考えていきたいと思っています。
3	子どもの様子や特性を理解した上での関わりや療育の実施	個々の状態や様子を配慮した上で、特性に合わせた関わり方・成長への手伝いを職員一同、話し合いながら考え、実行しています。変化や成長に合わせて利用児童が楽しんで成長できるように取り組んでいます	事業所の様子だけではなく、関わる環境での様子や取り組みに賛同しながら成長を応援していきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所への地域の方を招待や地域に開かれた事業所運営を図ることが現状困難である	現状、利用者の様子や状態を考慮した上で、地域との関わりが困難であったり必要性が十分でないことが考えられる為実地していない状況です。これからの成長に合わせてながら、時期が来た時には、必要な経験として取り組んでいきたいと思っています。	利用者のこれからの成長に合わせてながら、時期が来た時には必要な経験として取り組んでいきたいと思っています。
2	保護者会・保護者参加のレクリエーションの実施が出来ていない	以前に保護者参加のレクリエーションでクッキングを催しました。参加していただいたご家族からは好評をいただき、スタッフも楽しい実りのある時間となりましたが、参加していただいたご家族も少なく現状はほとんどのご家庭に需要を感じない結果となりました。	参加していただいたご家族が喜んで頂けたことを念頭に年度間に2回の参加型レクリエーションを企画していきたいと思っています。また、多く参加してもらえるように告知も行っていきたいと思っています。
3	家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等を行っていない	利用者のご家族の困りごとや相談には、出来る限り迅速に対応していますが、様子やニーズに合わせた研修会等の情報提供は行ったりしたことがあまりない状況でした。	ご家族様にも勧められる研修等の情報を集める意識を持ち、ニーズに合わせて紹介していく機会を作りたいと思っています。